

子供のけんかにか 親が出る!?

親心が
試されます。

子供同士のけんかにどう対処していますか？ 子供を叱らない、白黒つけたがる、わが子の言い分しか聞かない……そんな親たちが出てくると、単なる子供のけんかが、親同士の「仁義なき戦い」に発展することも。実際にあった「けんか事件簿」から、解決の糸口をひもときます。

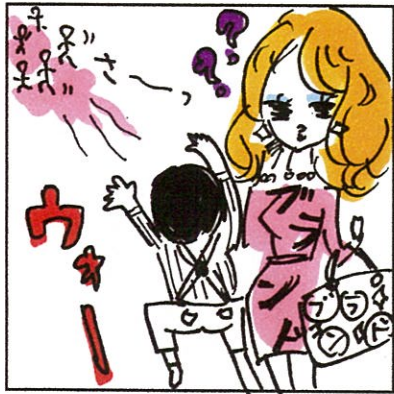
取材・文/黒木治美 イラスト/平松昭子 デザイン/野澤享子(Permanent Yellow Orange)

けんか 事件簿 3

乱暴ムスコとえせレブママ

近所の乱暴者の男の子。ちょっとでも気に入らないことがあると、話すよりも突き飛ばす。デパートで見知らぬ女の子を突き飛ばし、警察を呼ばれたことも。習い事も、他の親子から苦情がありやめさせられました。幼稚園からだ、子供同士がもめてどちらかが手を出すことはよくあります。でもその親子の場合、毎度大問題に発展してしまうのは、母親の態度にあると思います。子供への注意が甘い。相手の親

に謝る時もテキトー。なのに全身ブランド物で固めて上品ぶっているの、より反感を買ひ、私も含めお友達はみんなはなれていきました。でもそれから数カ月後……最近私の息子も時々手が出るようになってきて、手が出やすい子供を持つ親の辛さ痛感します。彼女を反面教師にし、トラブルが起こったら誠意を持って謝っていますが、これでいいのか……。 (年長男子ママ・A・Kさん(37歳))



ADVICE 「話すよりも手が出る」という子は、言葉で自分の気持ちを伝えることがうまくできないことが多くあります。それはまず、親子でコミュニケーションがうまく取れていない場合も少なくありません。子供はコミュニケーションの基本を、まず家族の中で学んでいきます。親が、子供の気持ちをちゃんと聞いて、言葉でやりとりして、解決していく……、そんなやりとりを大切にすること。「手が出やすい子供」の場合は、親子の関わり方を少し見直しましょう。

けんか 事件簿 4

「言いつけるから!」が常套句の勝ち気な子

公園の記念碑によじ登ろうとするBちゃんに娘が「そこに登ったらいけないよ」と注意したところ、「いけない!」と反論され、「いけないよ!」「いけない!」と押し問答がつづきました。私は、少し離れた場所で、「どうするのかな」と観察していましたが、最後にはBちゃんが「いいよ。もう〇〇ちゃんとはぜったいにあそんであげないから!」「先生とおかあさんにも言いつけるから!」とものすごい剣幕で逆ギレ。最後にはなぜかうちの子供が泣いて「ごめんさい」と謝ることに。ここで、初めて気が付いたBちゃん

のママ。「どうしたの?」とBちゃんに聞くとBちゃんは「〇〇ちゃんがいじわるばかり言うの!」とウソの報告をしました。「子供ってコワイ……!」とびっくり唖然としてしまい、反論することができなかった私。その場で相手の親にすべてを話すべきだったな、と反省しています。後日談ですが、先日Bちゃんのママが「うちの子、おっとりすぎてて心配」と言っているの聞いて、開いた口がふさがりませんでした。(小1女子ママ・K・Kさん(31歳))

ADVICE やはりその場で、Bちゃんママに報告してあげるとよかったですね。そしてお子さんの理不尽な気持ちを、「注意できてえらかったね」とまずは受け止めてあげてほしいと思います。子供は、事の善し悪しよりも、親にどう見られるかを優先して、それが親への説明になってしまうことが少なくありません。Bちゃんは、「何かするたびに、親に叱られやすい」のかも知れません。そのような子は、周りの注目を引きたくて、わざとではいけないことをする傾向もあります。



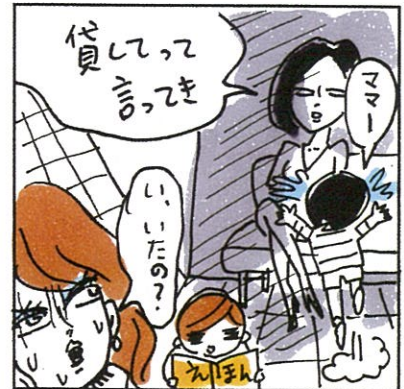
けんか 事件簿 1

叱らない母親

病院での出来事です。待ち時間の間に、息子を読みたい本をほかの子が読んでいたので、息子は順番を待っていました。そして、その子が本を返したので、すぐにそれを取りに行っただけのところに戻って来ました。息子が読もうとした時に、息子より少し大きい男の子がやって来て、突然その本を力づくで奪おうとしました。息子もその本を読むのを楽しみに待っていたので渡そうとしません。結果、本の取り合いになってしまって大騒ぎに。息子は順番を守っていたし、明らかに相手が横暴だなと感じたので、先に貸してあげたらとも言えず……。 「こ

の子のママが来てくれたらいいのに」と困っていたら、その子が泣きながらすぐそばの女性ののもとに走り寄りました。なんと! その子のお母さんでした。自分の子供の様子が一番よく見える場所に座っています。ずっと知らん顔していたことにもびびりしましたが、泣いて戻ってきたその子に「お友達が読み終わるのを待とうね」と言わずに、「貸してって言ってき」と言っていて仰天。心底呆れました。それ以降、自分の子が悪いことをしても叱らない親は、どんなにいい人でも絶対仲良くならないように決めています。(年長男子ママ・M・Mさん(33歳))

ADVICE ほかの子が本を読み終わるのを待っていることができるの待っていることができるお子さん、優しいですね。取り合いになった時に、息子さんから「前の子が読み終わるのを待っていたから、読み終わるのを待ってね」とは伝えることは難しかったでしょう。または、子供が言えなかったら、代わりに気持ちを伝えてあげるのもよいでしょう。自分の子が悪いことをしても親が叱らないなら、遠慮せずその子供に「こうしたらどうか」とアドバイスしてあげましょう。



けんか 事件簿 2

だれが悪者か決めたい親たち

息子が仲良しだったAくんとBくんの話です。ある日、Aくん、Bくんがジャングルジムで遊んでいたら、その角に顔をぶつけてしまい、額がぱっくり切れてしまいました。現場には本人たちしかおらず、事実是不明。AくんはBくんのせいにして、Bくんは偶発的なことだと主張していましたが、真相は闇の中。先生も困惑していました。互いの親はわが子の主張を尊重し、Aくんの親が「うちの子に謝ってほしい」と、Bくんの親に連絡。その行為にBくんの親が激怒しました。結局、親がギクシャクし、子供同士を壁を作ってしまう、その後、ことあるごとにけんかをするようになりました。息子もなんとなくAくん、Bくと疎遠に。わが子のけんかに直面した親って、どうして仲直りさせることはどうでもよくなって、「真実は?」「だれが悪い?」を明らかにすることに躍起になるのでしょうか。(年長男子ママ・M・Nさん(36歳))

ADVICE どちらが悪いということではなかったのかも知れません。もちろんケガをしたわけですから、親としては、原因を追究し、謝ってほしいという気持ちもあるでしょう。でも、白黒はっきりさせることが得策でないこともあります。今後どんなことに気を付けたいのかわかると子供たち主体で一緒に考えるほうがいいですね。子供は親の心を映し出す鏡。親がギクシャクすれば子供同士も壁を作ってしまう、友達付き合いの幅を狭めてしまう結果になってしまいます。

ADVISER



高祖常子さん
育児の情報誌「miku」編集長、WEBサイト「子育ての悩み」運営者

自己防衛する男子

息子の一番仲良しのお友達Cくんの親から、「おたくの子が漢字ドリルをハサミで切ったから、家に子供を連れて来るように」と連絡が。その場ですぐに謝り、息子に確認したところ、悪気ゼロの表情で「切ったよ」との返事。理由を聞いたら、最初はCくんが自分で切っていて「カードが増えるから〇〇もやっていたよ」と言われた、といういきさつでした。そのことを伝えに家に伺ったところ、Cくんが「自分はまったく切っていない。いきなり〇〇がドリルを取り上げて切ったんだ」と主張したので、すかさず息子が「違うよー！隣の席の子も見てたもん」と言うと、Cくんはだんまり。Cくんの母親も、「何で先生にすぐ言わなかったの？ ママがド

リルを見るまで何も言わなかったのはどうして？」とは問い詰めましたが最後まで自分はやっていないの一点張り。すると父親が出てきて、Cくんを激怒し(含む暴力)、「二人は二度と一緒に遊ぶな!」と一喝されました。私と息子にとって、その強引なけんかの収め方は、かなりショッキングでした。結局、その子とは、クラスも変わり遊ばなくなってしまい、親同士も連絡を取らなくなってしまいました。子供は自分にとって有利な発言をします。自分の子供の言っていることだけを鵜呑みにするのは危険だと痛感。けんか両成敗とはよく言ったもので、一方だけが悪いというケースはあまりないと思うのですが……。(小3男子ママ・A・Tさん(35歳))

ADVICE 「自分の子供の言うことだけを鵜呑みにするのは危険」というのは、まさにその通り。特にC君の父親の暴力が気になります。たぶん萎縮して何も言えないのでしようし、そのストレスが、今回のような行動を引き起こした可能性もあります。また、ドリルをハサミで切ったのが学校だったなら、まずは担任の先生に伝えて、先生がどの程度把握しているのかを確認し、クラスの中での出来事としての対応をしてもらいましょう。

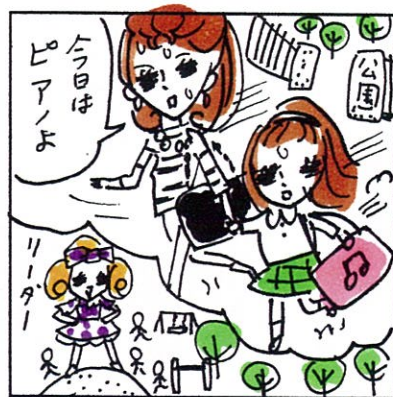


ママバトルに発展させないための手段

うちの娘はクラスのリーダー的の女子と反りが合わないようで、いざごとの末、いつも仲間はずれにされます。帰りに公園で遊んでいる時に、毎回娘が仲間はずれにされているのを見るのが辛くて(でも娘は決して私に苦情を言わず、「ひとりで遊ぶからいいもん」と強がっている)、その親子がひまな曜日に習い事や用

事を入れて、極力幼稚園以外での接触を断つようにしました。結果、母親としてはかなり気持ちが悪くなりました。クラスのほかのお母さんたちには悟られていないし、この子のママとも世間話くらいはしますが、本心ではこの親子が本当にキライです。(年長女子ママ・Iさん(30歳))

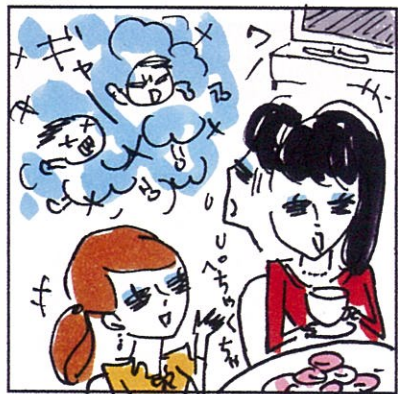
ADVICE 子供に習い事など、幼稚園以外の居場所を作ってあげるの、とてもいいことです。ママに苦情を言わないのですが、ぜひ、お子さんの本音も引き出してあげられるといいですね。一緒に過ごすリラクスタイムに、「あのね……」と心に引っかかっていることを伝えてくれることがあります。「それはつらいよね」と、気持ちを受け止めてあげましょう。また、お絵かきをするなど、ひとりで遊びが好きなお子もいます。ひとりの時間を楽しめるなら、常にグループで遊ばなくてもいいでしょう。



けんかといじめの境界線

- ・ひとりを大人数で攻撃している。
 - ・強者と弱者の関係が固定されている。
 - ・トラブルに対して子供が精神的ストレスを感じている。
- ※けんかか? いじめか? 心配な場合はこちらを参考に。

ママは仲良し、子供同士は相性最悪



幼稚園で同じクラスの親子。ママとは本当に仲良しなのですが、子供同士は最後には取っ組み合いになり、どちらかが泣き叫ぶまでけんかします。本当に気が合わないようです。親の都合で、けんかになるお友達と子供を遊ばせるのはかわいそうですか?(年中男子ママ・E・Kさん(33歳))

ADVICE 子供同士が本当につらそうなら、幼稚園の間に、ママ同士でランチするなどして、子供同士は距離をおいてあげるのも手です。でも小さな子供の場合、関係性はとても流動的なものです。すぐ気が合わなかった相手だったのに、何かをきっかけに急に仲良くなることも珍しくありません。大人になれば、いろいろな人と付き合わなくてはならないのですから、それも人付き合いの勉強のひとつとおおらかに考えていけるといいですね。

「男は元気が一番!」が信条の一家

息子のサッカー教室に、いつもふざけている少年がいます。順番を守らない、まじめにやっている子供の邪魔をする……。その子の母親はまったく注意することなく「うちの子、元気すぎるのよね〜」と言うだけ。ある日、息子が練習をしている時にちょっといい出しきました。息子は「やめろ」と怒るのですが、少年はやめるところにやにや笑って頭をたたいてきました。「もうやめろ〜」と手を払ったところ、力が強かったようで、その少年は後ろに倒れてしまいました。突然ワンワン泣き出す少年。たぶん私と同じように一部始終を見ていたであろうその母親は、少年のところに駆け寄り、こちらをジロリとにらみました。突き飛ばしてしまったことはたしかに悪いので、「ごめんね」と謝ったけれど、相手に非があるように感じたので、思い切って、少年が邪魔をして困っている旨を話し

ました。しかしあちらは「体を動かす場で、これくらいいいのでは?」という見解で、わが子に注意する気はまったくない様子。よその家庭の考えを変えるのも難しいと思うので、少年のちょっとかかっているか、教室をやめるか、悩んでいます。(小1男子ママ・Y・Sさん(35歳))

ADVICE お互い現場を見ていたのであれば、相手の母親に気持ちを伝えるのは、とてもいいことだと思います。相手に指摘されると、その場はバツが悪くて、相手はそのような言葉を使ったのかもかもしれませんが、その気持ちは少しでも相手に伝わっていると思います。今回の場合、教室での出来事ですから、教室のコーチに対応をお願いしたほうがよいでしょう。母親同士で解決しようとせず、コーチに相談することで、対応策を考えてくれるかもしれません。

鉄則

1. 子供が本音を親に話せているか確認しよう。
2. 自分の方針と違う親子と簡単に、距離をおかない。
3. 子供同士のトラブルは人間関係の勉強のチャンスで

ママの感情移入が子供のけんかをややくしこくします

子供のけんかを、親vs親のけん、発展させてしまいがちなママがくありません。「あの親子ともう合わない!」と距離をおき、子で疎遠にさせるケースもよく聞きます。でも考えてみてください。ことが起こった時、親の一存での交友関係をせめてトラブルの空間をつくるのか、それとも供同士で解決するよう親が導いて心地のよい空間を自力で広げていか。どちらが人間関係を学べかは明らかです。子供のけんか面した時は、子供の気持ちを自気持ちに置き換えるのをやめるそして、なにより子供の本音を出すことが大切です。親が「乱子」と思っている友達でも、子イヤだと感じていない場合もあります。逆にもしひどくストレスをあげるといいますね。